

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
デザイン実習 1 C											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	林 久喜			実務 経験	有	職種	インテリアデザイナー				
担当教員紹介											
店舗の内装設計から住宅やマンションの建築設計まで手掛けてきた。その経験をインテリアデザインを学ぶ学生へ興味が広がるように授業展開して ます。											
授業概要											
Vectorworksに関する基本的な知識や技術を学び、インテリアの基礎となるC A D製図の技術を習得することを目的とする。 インテリアデザインの仕事に直結する汎用CADの一つであるVectorworksの技術を身に付けることで、次年度以降の課題に取り入れられるようにする。											
到達目標											
VectorWorksの使い方を身に付け、インテリアの平面図、展開図、家具図を2次元で表現できるようにすることを目標にする。1 年次にインテリアデ ザインにおける 2 次元表現の重要性に重点を置いた学習内容とする事で、2 年次の3 D表現へ繋がる下地をしっかりと固める事に繋がる。 自身が2次元で表現したい事が自在に表現できるようにする為に、2次元作図の基礎をしっかりと理解し、次年度に活かせる知識と技術を身に付け るようにするのが今回の授業の目的となる。											
授業方法											
Vectorworks基礎知識と技術を学ぶ科目である。この授業では個人ワーク主体で課題制作を行う。この授業では、インテリアデザインの作図の知識 を利用し、C A Dの基礎となる製図ソフトの用紙の扱い方、縮尺のルールを理解することを目指す。この授業に参加した学生が自らのデザインの家 具・インテリアにおける三面図、平面図、展開図の作図をVectorworksを用いてできるようになることを目指す。											
成績評価方法											
表現技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する									
課題技術	40%	課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する									
完成度	10%	課題の完成度について総合的に評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
遅刻、欠席をすると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず体調不良等で欠席した場合は、翌日に自発的に資料を 教員室まで取りに来ること。授業中メモを取り、わからないことは、質問すること。課題は締切厳守。全ての課題を提出で合格とする。授業時数の4 分の3以上出席しない者は最終課題の評価を受けることができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	【ガイダンス】 VWの概要（インテリアデザインにおける応用例等）を理解し、実践できるようになる。										
第2回	【VWの使い方：基礎-1】 自身のPCのVWの環境設定を整え、簡易図形が書けるようになる。										
第3回	【VWの使い方：基礎-2】 VWでの図形のツールと基本的な編集機能について理解する。										
第4回	【VWの使い方：基礎-3】 VWでの図形のツールと編集機能を組み合わせて応用し、図形が描けるようになる。										
第5回	【VWの使い方：応用】 レイヤ、縮尺、用紙設定を覚える。枠・素材表・上面図まで完成。										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
デザイン実習 1 C	
第6回	【家具の作図①（置き家具）】 正面図・側面図。寸法規格を習得して図面に寸法を記入。
第7回	【家具の作図②（造作家具）】 VectorWorksで家具の図面が描けるようになる。
第8回	【平面図の作図①】 Vectorworksで平面図が描けるようになる。中級は家具、床、色付け、寸法以外まで完成。
第9回	【平面図の作図②】 Vectorworksで描いた平面図から展開図が描けるようになる。中級完成の上、展開図。
第10回	【展開図の作図①】 Vectorworksで平面図が描けるようになる。休み中に完成。アイデア検討。
第11回	【展開図の作図②】 自分で考えた空間を平面図にすることができる。
第12回	【展開図の作図（リビング上級）】 Vectorworksで描いた平面図から展開図が描けるようになる。
第13回	【カフェ課題の作図①】 カフェ空間の検討。イメージ写真収集。自分で考えた空間を平面図にすることができる。
第14回	【カフェ課題の作図②】 自分で考えた空間をCAD(2D)を使用して平面図と展開図を描けるようになる。
第15回	【カフェ課題の作図③】 平面図・展開図・イメージ画像・家具照明画像・コンセプト・タイトルを配置してボードにする。